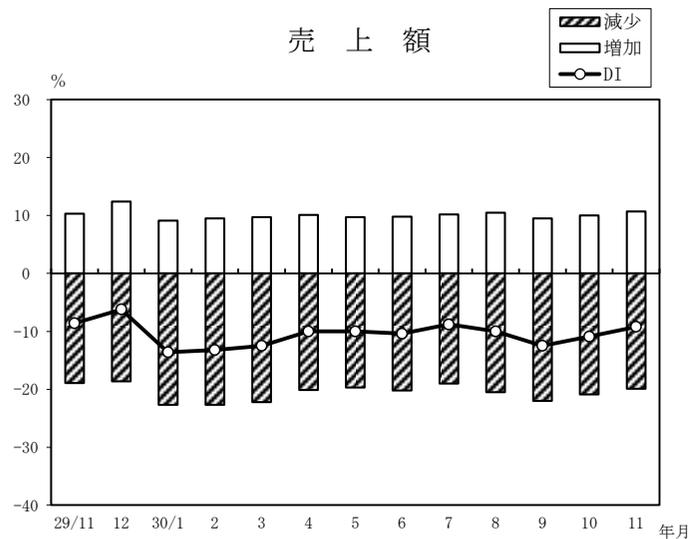


小規模企業景気動向調査(2018年11月期)

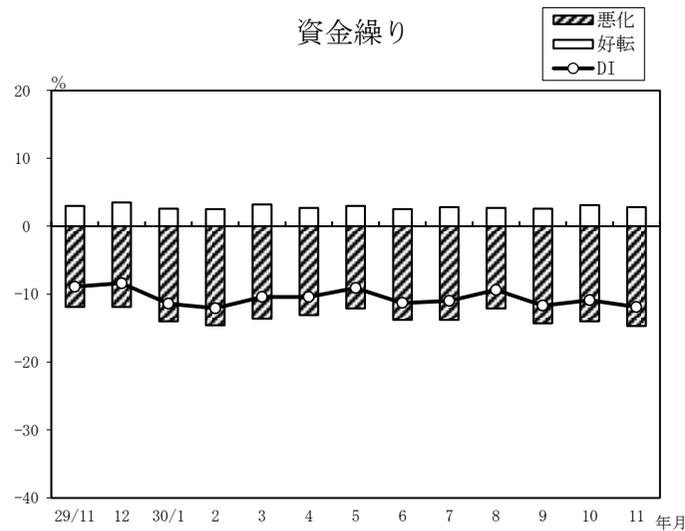
産業全体(前年同月比)

売上額



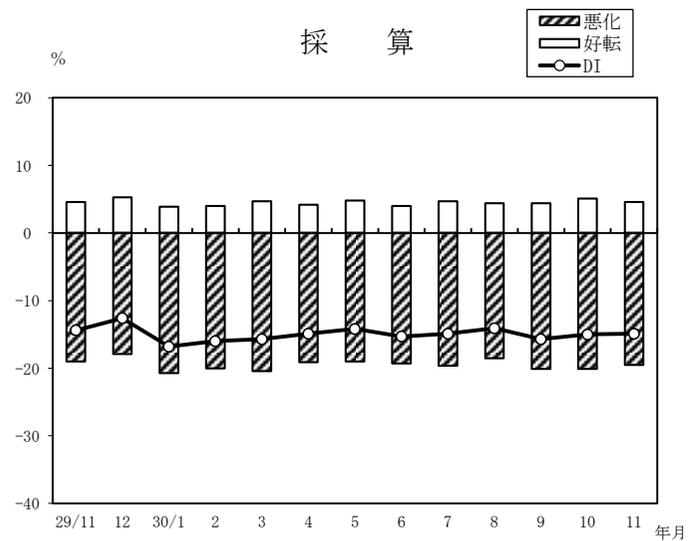
年/月	増加	減少	DI
29/11	10.3	-18.9	-8.6
12	12.4	-18.6	-6.2
30/1	9.1	-22.7	-13.6
2	9.5	-22.7	-13.2
3	9.7	-22.2	-12.5
4	10.1	-20.1	-10.0
5	9.7	-19.7	-10.0
6	9.8	-20.2	-10.4
7	10.2	-19.0	-8.8
8	10.5	-20.5	-10.0
9	9.5	-22.0	-12.5
10	10.0	-20.9	-10.9
11	10.7	-19.9	-9.2

資金繰り



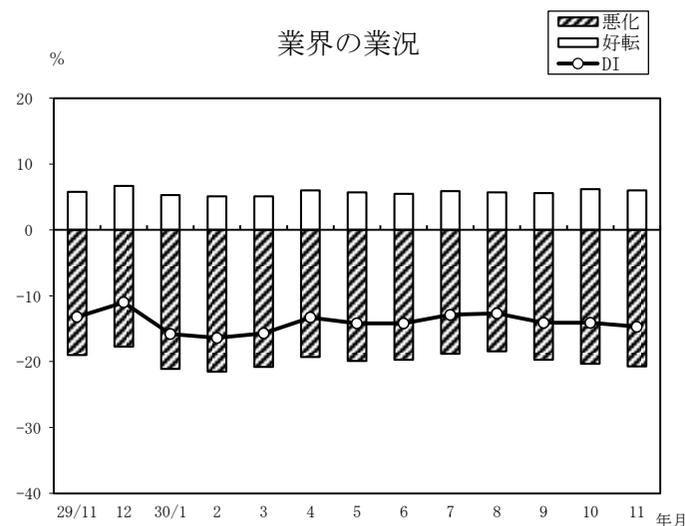
年/月	好転	悪化	DI
29/11	3.0	-11.9	-8.9
12	3.5	-11.9	-8.4
30/1	2.6	-14.0	-11.4
2	2.5	-14.6	-12.1
3	3.2	-13.6	-10.4
4	2.7	-13.1	-10.4
5	3.0	-12.1	-9.1
6	2.5	-13.8	-11.3
7	2.8	-13.8	-11.0
8	2.7	-12.1	-9.4
9	2.6	-14.3	-11.7
10	3.1	-14.0	-10.9
11	2.8	-14.7	-11.9

採算



年/月	好転	悪化	DI
29/11	4.6	-19.0	-14.4
12	5.3	-17.9	-12.6
30/1	3.9	-20.7	-16.8
2	4.0	-20.0	-16.0
3	4.7	-20.4	-15.7
4	4.2	-19.1	-14.9
5	4.8	-19.0	-14.2
6	4.0	-19.3	-15.3
7	4.7	-19.6	-14.9
8	4.4	-18.5	-14.1
9	4.4	-20.1	-15.7
10	5.1	-20.1	-15.0
11	4.6	-19.5	-14.9

業界の業況



年/月	好転	悪化	DI
29/11	5.8	-19.0	-13.2
12	6.7	-17.7	-11.0
30/1	5.3	-21.1	-15.8
2	5.1	-21.5	-16.4
3	5.1	-20.8	-15.7
4	6.0	-19.3	-13.3
5	5.7	-19.9	-14.2
6	5.5	-19.7	-14.2
7	5.9	-18.8	-12.9
8	5.7	-18.4	-12.7
9	5.6	-19.7	-14.1
10	6.2	-20.3	-14.1
11	6.0	-20.7	-14.7

小規模企業景気動向調査

[平成30年11月期調査]

～足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況～

2019年1月16日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2018年11月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…足踏み状態が続き、停滞感が強まった小規模企業景況…◇

11月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)、売上額DI、資金繰りDIはわずかに悪化し、採算DIは前月とほぼ不変であった。経営指導員からは、11月は暖冬で、前年と比べると積雪も少なく好天にも恵まれたため、観光地では景況感改善のコメントが目立った。また、本格的な冬の到来や年末の資金需要に向けて、各地の金融機関の積極的な態度が見られる。一方で、業種を問わず人手不足、原油等の価格高騰は慢性化しており、景況は停滞感が強まって来た。

<製造業> ◇…受注は好調も、人手不足や働き方改革の影響が懸念される製造業…◇

製造業は先月から引き続き、全項目が改善となった。特に採算DIが小幅な改善となった。食料品製造業では年末年始の需要増に対応するため、高稼働の状況に入ったとの声がある。また、今年は台風・地震と全国各地で災害が続いたこともあり、災害用ヘルメットを製造する強化プラスチック製品製造業やコンクリート製品製造業では、例年に無い需要が出てきている。他業種と同様人手不足に悩まされており、労働時間が増加する傾向にあるが、最低賃金の上昇や今後実施される働き方改革の影響を懸念するコメントも見られた。

<建設業> ◇…受注は好調も、大手企業等との競争や資材高・人手不足が足かせとなっている建設業…◇

建設業は売上額DIこそ小幅な改善となったが、業況DIと資金繰りDIは小幅に悪化、採算DIはわずかに悪化した。来年の消費税増税前の駆け込み需要や災害からの復旧工事で官需・民需を問わず工事量が増加しつつあり、受注は好調である。しかし、民需は大手企業やハウスメーカーの参入が多く、町村内を商圈とする小規模事業者の受注が難しくなっている。また、専門性の高い職別工事業の人手不足や重機不足により伴う工期の長期化による受注機会の逸失が発生や建材等の材料高などにより、利益等が圧迫されているとの声があった。

<小売業> ◇…季節需要から一部は好調も、人手不足等の影響もあり疲弊が続く小売業…◇

小売業は、全項目が悪化となった。秋冬物の販売が好調であるとの声や紅葉等の行楽需要により飲食料品を中心に売上が伸びているとのコメントがあった。一方、小規模な小売業の全国的なじょうきょうであるが、相次ぐ大規模小売店、ロードサイド店舗や食品コーナーを持つドラッグストアの出店や競合により売上の確保が難しく、人手や仕入れ商品の確保にも苦慮しているとの声もあった。また、仕入単価も上昇しており大変厳しい状態が続いている。

<サービス業> ◇…売上は好調も、人手不足や原材料高の影響の大きいサービス業…◇

サービス業は先月から一転、全項目が改善に転じた。各種イベントの効果もあり観光客が増加した地域や、本来、紅葉と冬山シーズンの間のオフシーズンのため集客が低下する時期にもかかわらず、却って増加となっている地域も見受けられた。しかし、人手不足によりアルバイト・パートの確保に苦労しているのはサービス業も例外でなく、近隣との大型店との競争激化や消費者の消費控えなどで売上が思うように向上しないとのコメントがあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 10.9	▲ 9.2	1.7	▲ 4.2	▲ 3.3	0.9	5.0	9.1	4.1
採算	▲ 15.0	▲ 14.9	0.1	▲ 13.1	▲ 11.1	2.0	▲ 5.9	▲ 6.4	▲ 0.5
資金繰り	▲ 10.9	▲ 11.9	▲ 1.0	▲ 7.1	▲ 7.0	0.1	▲ 5.2	▲ 8.2	▲ 3.0
業況	▲ 14.1	▲ 14.7	▲ 0.6	▲ 10.4	▲ 9.8	0.6	0.4	▲ 2.1	▲ 2.5

業種	小売業			サービス業		
	10月	11月	前月比	10月	11月	前月比
売上額	▲ 23.1	▲ 25.5	▲ 2.4	▲ 21.4	▲ 17.3	4.1
採算	▲ 21.4	▲ 23.4	▲ 2.0	▲ 19.6	▲ 18.8	0.8
資金繰り	▲ 16.9	▲ 20.3	▲ 3.4	▲ 14.4	▲ 12.0	2.4
業況	▲ 25.6	▲ 27.2	▲ 1.6	▲ 20.7	▲ 19.9	0.8

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。